

島根県松江市

中心市街地活性化基本計画

【3期計画：令和元年12月～令和7年3月】

・江戸時代には堀尾氏3代、京極氏1代、松平氏10代の城下町として発展。松平家7代藩主治郷は茶の湯の文化を根付かせる。明治時代には文豪・小泉八雲が滞在し、世界中に松江を紹介。
 ・平成23年8月に東出雲町と合併し、山陰最大の20万人都市となる。
 ・平成24年4月、中海・宍道湖・大山圏域市長会を設立、平成30年4月中核市に移行。
 ・人口201,887人(平成31年3月末時点住民基本台帳登録数)、面積572.99km²

【前期計画(平成25年4月～平成31年3月)の概要】

○事業の未実施等が要因となり、宿泊客数・通行量は目標値を達成できなかった。また人口の社会増減は6年間でプラスだったものの、事業実施による効果が想定よりも得られなかったことで目標値を達成できなかった。一方で、まちあるきの定着によってガイドコース参加者数は目標値を達成し、空き店舗解消のための関連事業の実施により空き店舗数は減少しているため、徐々に活性化の効果が現れてきている。

【中心市街地の課題等】

○**空き家・空き地・空き店舗等の既存ストックを活用したまちづくり**
 空き家や空き地などの低未利用地が増加しているため、遊休不動産を活用するリノベーションを進め、まちの機能の再構築と、若者が主役となる持続可能なまちづくりの仕組みをつくる。

○「水の都」松江の水辺空間を活かしたまちづくり

宍道湖、大橋川など多様な水辺に恵まれながら十分に活用されていないため、水辺空間のリノベーションを進め、持続可能な利活用の仕組みをつくり、人と人とのつながりが広がる空間づくりに取り組む。

○外国人を含めた宿泊客数の増加による観光振興

松江城や茶の湯などの歴史・文化資源や自然環境を活かすことで観光地の魅力を向上させ、夜の観光の魅力づくりに取り組むことで、インバウンドを含めた観光振興や交流の拡大を目指す。

【目指す中心市街地の都市像】

歴史・文化・水辺を活かす、若者が活躍する松江のまちなか

【前期計画目標】

目 標	目 標 指 標	基 準 値	目 標 値	最 新 値 <small>※山は目標値の達成見込</small>
まちなかを楽しむ 「観光・交流」	宿泊客数	1,278千人 (H23)	1,406千人 (H30)	1,269千人 (H30:未達成)
	まちあるき定時ガイド コース参加者数	6,840人(H24)	8,000人(H30)	12,141人 (H30:達成)
まちなかが賑わう 「近隣集客拠点」	歩行者自転車通行量 (平日休日2日間合計)	20,101人(H23)	23,000人(H30)	17,784人 (H30:未達成)
	商店街空き店舗数	97軒(H24)	82軒(H30)	58軒 (H30:達成)
住みたい・住み続けたい 「まちなか居住」	中心市街地内の 社会増減(平均)	38人 (H19～23平均)	66人 (H25～30平均)	5人(H25～30 平均:未達成)

【新計画目標】

目 標	目 標 指 標	基 準 値	目 標 値
既存ストックの活用など による活気の創出	遊休不動産の 事業化件数(累計)	30件 (H26～30累計)	53件 (R元.12～7.3累計)
	(※補完指標) 歩行者・自転車通行量 (平日・休日2日間合計)	20,060人(H30)	23,066人(R6)
水辺空間の活用などによる まちなかの賑わいづくり	水辺の公共空間の 活用日数(累計)	548日 (H26～30累計)	948日 (R元.12～7.3累計)
	(※補完指標) 水辺の公共空間の来訪者数	431千人(H30)	497千人(R6)
歴史・文化資源を活かした 観光振興・交流の拡大	外国人宿泊客数	43千人(H30)	65千人(R6)
	宿泊客数	1,269千人(H30)	1,374千人(R6)

既存ストックの活用などによる活気の創出

【主要事業】
 ・水の都松江のまちのRe-project
 ・古民家活用型多創造複合施設「SUETUGU」
 ・チャレンジショップ支援事業

水辺空間の活用などによるまちなかの賑わいづくり

【主要事業】
 ・白湯地区都市再生整備計画事業
 ・大橋川周辺まちづくり事業
 ・水の都音楽祭
 ・松江市民レガッタ

歴史・文化資源を活かした観光振興・交流の拡大

【主要事業】
 ・山陰まんなかインバウンド推進プロジェクト
 ・松江城周辺観光魅力創造拠点整備事業
 ・中海・宍道湖・大山圏域観光局事業
 ・松江水燈路

松江市中心市街地活性化基本計画の事業概要

既存ストックの活用などによる活気の創出

①水の都松江のまちのRe-project

若い世代の人材育成と遊休不動産の活用を連携させて取り組むことで、エリア・リノベーションを進め、まちなみを再整備し、若者が住みたくなり、やりたい仕事にチャレンジできる「若者が主役となる持続可能なまち」を目指す。

②古民家活用型多創造複合施設「SUETUGU」

古民家をリノベーションして多創造複合施設を整備し、シェアオフィスやチャレンジカフェ、チャレンジショップなど起業したい方がチャレンジできる場を設け、次の出店、空き店舗解消につなげる。



③チャレンジショップ支援事業

空き店舗等で、新たに出店しようとする事業者に対して家賃等を補助を行うことで、新規出店を促す。

水辺空間の活用などによるまちなかの賑わいづくり

④白潟地区都市再生整備計画事業

交流広場整備や歩行者空間の美装化、歴史的資源と調和したまちなみ形成に寄与する修景行為を支援する事業等を実施することで、住む、働く、訪れる場所としての魅力を高め、新たな賑わいを創出する。

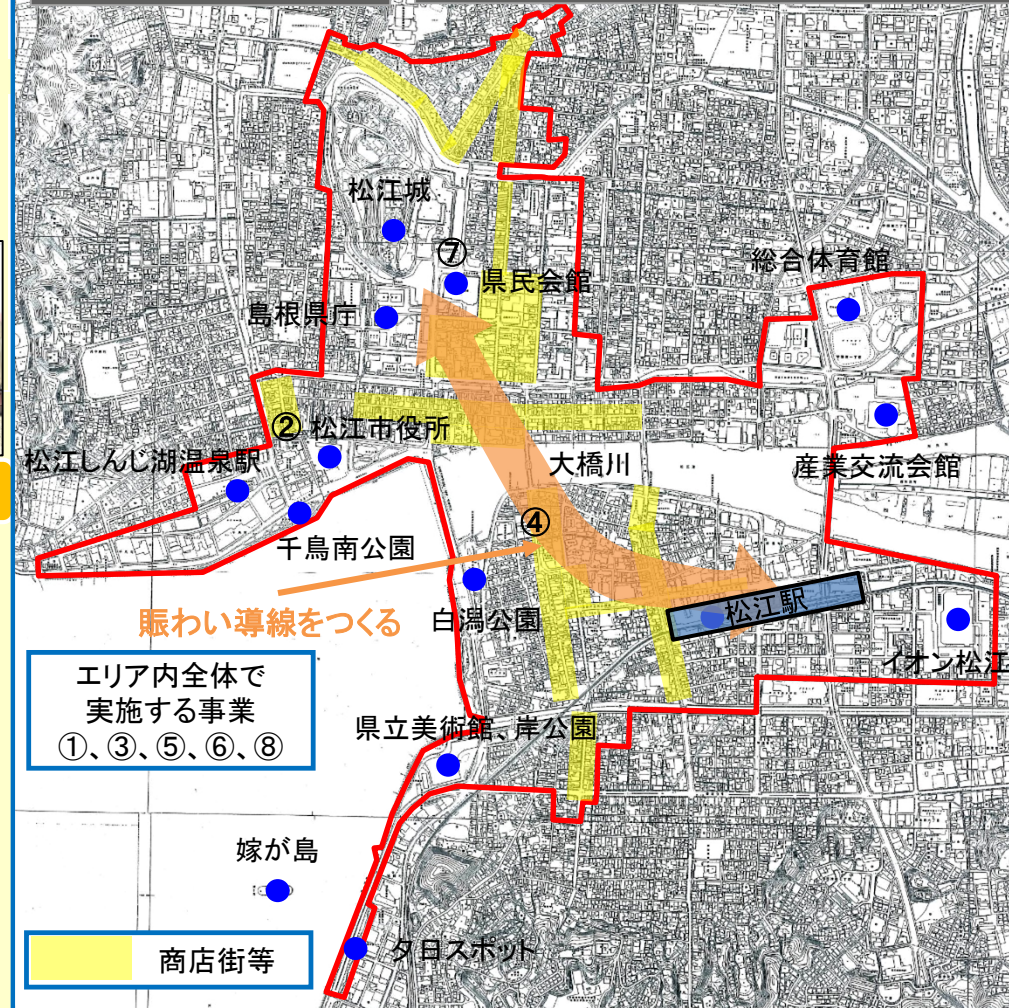
⑤大橋川周辺まちづくり事業

大橋川周辺まちづくり基本計画にもとづき、官民で構成するミズベリング松江協議会により、大橋川周辺の公共空間を利活用する取り組みに対し、必要な経費を補助することで、魅力的な水辺空間と市街地の回遊性の創出を図る。



中心市街地面積：約275ha

中心市街地人口：7,482人(平成31年3月末)



賑わい導線をつくる

エリア内全体で
実施する事業
①、③、⑤、⑥、⑧

商店街等

歴史・文化資源を活かした観光振興・交流の拡大

⑥山陰まんなかインバウンド推進プロジェクト

地域資源(歴史・文化など)のブラッシュアップを図り、夜のイベント開催などによって魅力を向上させ、域内の経済を活性化させるもの。

⑦松江城周辺観光魅力創造拠点整備事業

大手前広場にある堀川遊覧船の待合所を、観光情報発信機能を持たせた拠点施設として整備することで、まちあるき観光を含めた観光客の利便性の向上とさらなる集客を図る。

⑧中海・宍道湖・大山圏域観光局事業

観光プロモーションや観光客受入環境の整備を行うことによって、圏域のスケールメリットを活かした一体的な観光振興を図る。